

四国初のヘリを使った大規模土砂災害対応訓練を実施

豪雨や南海トラフ巨大地震などの際に発生が懸念される「天然ダム（河道閉塞）」は、上流の浸水被害や決壊による下流の大規模災害を引き起こすことから、天然ダム災害の防止には刻々と変化する水位の状況を把握する必要があります。

そのため、天然ダムの水位監視の円滑な実施を目的としたヘリを使った土砂災害対応訓練を実施します。

訓練では、**ヘリコプターから高さ約1 m、重さ約70 kgの水位計を水面に投下**するなど、実際の災害時に行う作業を実施します。

なお今回の訓練は、災害対応能力をいっそう向上させるため、**四国地方整備局としては初めて**、机上訓練ではなく実際にヘリからの水位計の投下作業などを行います。

1. 訓練日時

・平成30年2月27日（火）10:00～12:40

※2月28日荒天にともない変更いたします。

2. 訓練場所

・池田湖水際公園、池田ダム湖
（徳島県三好市池田町イタノ）

3. 参加機関

・四国地方整備局河川部、四国技術事務所、四国山地砂防事務所

4. 協力機関

・四国地方整備局 吉野川ダム統合管理事務所
・水資源機構 池田総合管理所
・三好市

5. その他

・見学スペースを用意していますので、ご自由に見学いただけます。（事前申込み不要）

・雨天等により日程変更又は中止する場合は、開催予定日（予備日の場合を含む）の前日17時までに事務所HP（<http://www.skr.mlit.go.jp/sabo/>）に掲載しますのでご確認ください。

本施策は、四国圏広域地方計画「No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模土砂災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

問合せ先（○：主たる問合せ先）

国土交通省 四国地方整備局 四国山地砂防事務所 TEL:0883-72-5400

副所長（技術） 白石 隆（しらいし たかし）

○調査課長 平澤 良輔（ひらさわ りょうすけ）